

田原の歴史写真

写真提供・西見起衛氏



養蚕盛んなりし頃の映像と
思われる。

手前の畑は桑畑である。



大正中期の映像か。
船だまりに小さな帆船が
浮かぶ。

手前の畑は野菜畑に変化。



昭和 10 年代の映像か。
川口は埋め立てられ広場が
出来て川との境に沿って新
しい広い道路がつけられて
る。

新田に田騒場ができ松林が
見える。



川口ガマナ付近

西見氏のお話では、幼少の頃、夏この松の木から川に飛び込んで遊んだと伺った。大正、昭和初期はこんな風景であったと思われる。



上記時期のカイナデからの風景。

カイナデは今は立派な漁港になっている。



昭和 20 年以後の風景

新田橋田騒き場の松は

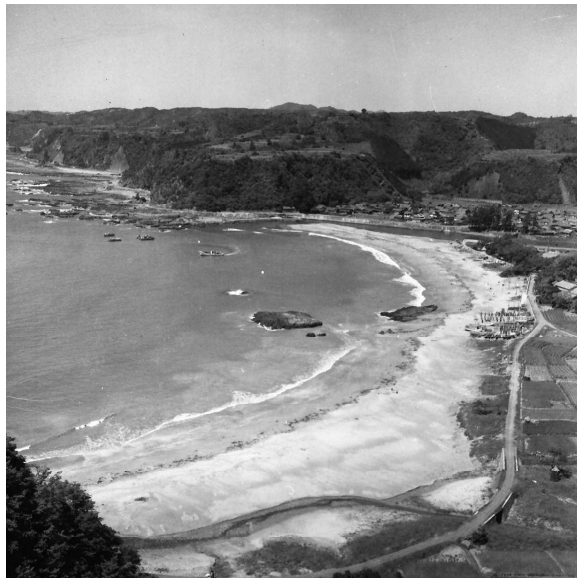
1 本だけになっている。



大正時代の運動会風景。
新築二階校舎と平屋古い校舎が見える。



上と同じ。



昭和 30 年頃の下田原風景

平見にはサツマイモが植えられていて、戦後の食糧難を救った。サツマイモを主体にした主食「うけじゃ」は常食であった。

農繁期になると、学校を退けた子供達は、夕方薄暗くなるまでお家の手伝いをした。当時の児童の作文には、兄弟揃って一生懸命働いて、お父さん、お母さんにほめてもらった喜びを綴ったものが多い。

撮影 宮本學